



## 農業施策等に関する意見書を提出



左から出町市長、北川会長、石王会長職務代理者

令和7年10月28日、農業委員会等に関する法律に基づき、市に対して令和8年度農業施策等に関する意見書を提出しました。

意見書の内容については、次のページに掲載しております。

# 農業施策等に関する意見書の内容

## 1 遊休農地の発生予防、解消対策の強化

担い手不足や就業者の高齢化により、農地の保全管理は限界にきており、新たな遊休農地の発生が懸念される。遊休農地が増加することで、雑草の繁茂、病害虫の発生に繋がり、周辺農作物への影響が甚大となることから、市として遊休農地の発生予防、解消対策を総合的に実施すること。また、再生利用が困難と見込まれる農地を除いた市内全ての農地を維持管理する取組に対して支援を講ずるよう強く国・県に働きかけること。

## 2 農地中間管理事業の推進

農地利用の集積・集約化をさらに推進するため、利用権設定が農地中間管理事業に一本化された趣旨を踏まえ、担い手の誘致やマッチング、借受農地管理事業の活用を積極的に行うこと。

また、書類作成の事務負担の軽減について国・県に働きかけること。

## 3 農地対策の強化

### (1) 農業農村整備事業予算の確保について

担い手への農地の利用集積を促進し、効率的で低コストな農業経営を確立するためには、ほ場の大区画化や農業水利施設の改修・更新が不可欠である。事業の採択要件の緩和と農業者の負担軽減に配慮するとともに、農業農村整備事業予算の確保について国・県に働きかけること。

また、大区画整備や畦畔<sup>けいはん</sup>除去等による区画拡大、暗渠排水整備等の農地耕作条件改善事業の活用を推し進めること。

### (2) 多面的機能交付金支払事業の継続及び農地の保全支援について

多面的機能交付金支払事業等においては、今後も安心して取組が継続されるよう、事務の簡素化などの負担軽減や予算確保を国・県に働きかけること。また、農地集積化が進む一方で、除草・水管理に無関心な所有者が増加していることから、農地保全の重要性について農地所有者へ啓発するとともに、地域や担い手が農地の保全作業を行った場合の支援について国・県に要望すること。

### (3) 自然災害等の対策について

頻発化・激甚化<sup>げきしん</sup>する自然災害等により、被災した農地や農業用施設の早期復旧に向けた取組への支援の強化とともに、災害復旧事業等の要件に該当しない被害であっても対応できる保険制度等の仕組みや支援について検討すること。また、災害等による溢水<sup>いっすい</sup>等被害の軽減のため、用排水路等の改修や保全管理・安全対策について予算措置を強化すること。

### (4) 用水の水量確保対策について

メの品質低下が憂慮されているなか、用水下流域及び中山間地域では、高温対策に必要な水量が確保できない事例も発生していることから、必要水量が確保できるよう支援や湧水対策を行うこと。

## 4 担い手・新規農業者への支援強化

### (1) 担い手及び新規農業者支援の拡充

農業の担い手・新規就農者の確保は、高岡市の農業を維持していくうえで必要不可欠である。次世代に向けた人材確保のため、副業も含めた多様な形態による農業への参入を若年層から高齢層まで幅広く促し、地域への定着に繋げる施策を進めること。また、新規就農者が早期に利益を確保できる補助制度等の創設や、担い手にとって使い勝手のよい支援策の創設・拡充を進めること。

### (2) スマート農業の普及促進

地域農業の担い手の高齢化や人員不足が懸念される中において

て、農作業の効率化・省力化に加え、熟練農業者の技術継承を円滑に行うため、スマート農業の普及促進に向けた積極的な支援を講ずること。

### (3) 農福連携の推進

農福連携の推進に向け、働きやすい環境を整備するための事業要件の緩和や支援を国・県に働きかけること。また、農福連携に参入しやすくするため、各関係機関への広報活動や相談窓口の充実を図ること。

## 5 農業者の経営安定対策の充実

### (1) 生産資材価格の高騰等に係る対策や支援

持続可能な農業経営のためには、従来の生産物コストに加え、原油高、円安進行、海上運賃値上げ等の影響による生産資材価格の高騰や、最低賃金の引上げなどの人件費上昇等を考慮した合理的な価格形成を行うことが

必要である。国民の理解醸成を図るとともに、適正な価格形成の仕組みを国に構築するよう県

に対して強く働きかけること。

### (2) 「産地交付金」の充実及び小規模農業者への支援

「産地交付金」については、十分な額の配分を国・県に働きかけるとともに、農業者の営農意欲を損なわないよう、幅広い品目について県独自の支援措置を講じるよう働きかけること。また、生産条件が不利な市街化区域や中山間地域等で農業を営む意欲ある小規模農業者も含め、多様な農業者の所得向上が図られるよう支援策を講ずること。



### 6 鳥獣被害防止対策への支援強化

イノシシ等の野生鳥獣による農作物等への被害は、生産意欲の減退に強く繋がっている。よって、市は、次の事項について措置を講ずること。

- ① 鳥獣被害が生じた農地への支援や被害防止の取組の強化
- ② 狩猟免許取得者の負担軽減に配慮した捕獲に携わる担い手の確保及び技術向上に向けた支援
- ③ ICT等を活用した最新技術の導入に対する支援
- ④ 捕獲後の迅速な廃棄処理に対する支援措置の強化

### 7 6次産業化の推進

農業経営の多角化・高度化を進めるためには、生産された農産物を商品加工し、より付加価値を高め、流通・販売する農業の6次産業化が有効な手段である。よって、新商品の開発や販路の拡大、加工施設等の整備に對する県単独の補助事業を拡大するよう県へ強く働きかけるとともに、一般企業等の農業部門への参入を促すなど、農業の6次産業化を推進すること。



# 農地参考賃借料等をお知らせします

農地参考賃借料及び農作業参考料金は、あくまで1つの「目安」として提供しているもので、拘束力はありません。ほ場の形状や土質等を勘察し、当事者間で十分な協議のうえ決定してください。

## ■農地参考賃借料（水稲 10a 当たり）

区域	データ件数	平均額	最高額	最低額
高岡市全体	892 件	5,939 円	10,000 円	2,000 円
旧高岡市の区域	764 件	6,027 円	10,000 円	2,000 円
旧福岡町の区域	128 件	5,413 円	9,200 円	4,200 円

- ・令和7年の契約実績（利用権設定・中間管理事業）に基づき算定。
- ・市街化区域の農地は含まず。

## ■農作業参考料金

区分			標準額	
賃金（1日）			9,900 円	
農業機械料金 （10 a 当たり）	水稲	トラクター	（耕起から代かきまで一貫作業）	17,700 円
			（秋起こし）（耕起、溝切り）	10,500 円
		側条施肥田植機	（苗・肥料 委託者負担）	10,500 円
		コンバイン	（刈取り、脱穀）	30,300 円
	麦	トラクター	（耕起、溝切り、播種）	19,300 円
			（耕起、溝切り）	10,500 円
		コンバイン	（刈取り、脱穀）	26,100 円
	大豆	トラクター	（耕起、砕土、播種）	17,400 円
		コンバイン	（刈取り、脱穀）	27,200 円

- ・労働賃金は実働 8 時間で、超過労働賃金は 25% 増し。
- ・ほ場整備済みの面積 30a の農地を基準とした 10a あたりの料金。
- ・農業機械の移動にかかる運搬車等の料金は含まず。
- ・この料金は消費税抜き。

**おすすめします！全国農業新聞の購読を…**  
 農業を取り巻くいろいろな情報や、これからの農業経営についての新しい知識を分かりやすく皆さんにお伝えする情報新聞です。

- 発行日 毎週1回（金曜日）
- 発行先 全国農業会議所
- 購読料 一か月700円（税込）

**※令和8年4月から900円（税込）に変更**

お申し込みは、農業委員または農業委員会事務局へ  
 農業委員会事務局 ☎20-1473

## 農業者年金に加入しましょう

農業者年金についてのお問い合わせは、次まで。

農業委員会事務局 ☎20-1473  
 農協各支店  
 農業者年金基金 ☎03-3502-3945

## 編集後記

昨年の秋の大きな話題といえば、全国的に起こった熊出没のニュースだったろう。冬眠の季節になっても人身被害が発生する事態にやきもきした。

さて、私が所属する「山の会」で山行に出かけたときのことである。行き先は岐阜県北部の「三方岩岳（1736m）」。「ホワイトロード」冬季閉鎖のため、下の登山口から徒歩で高低差1050m、行動時間6時間50分。急登あり、やぶ漕ぎあり、凍結斜面ありで、頂上に着いた。この日は一日中、秋の澄み切った青空で、風も無く穏やかな温かさのある「鴟目」（もずびよりの）の一日であった。展望良く、熊に逢うことも無く、最高の登山であった。

「野も山も 秋は素通り 冬近し」（川淵）

## 編集委員（五十音順）

◎石王 純子 石黒 昇 川淵 順正  
 杉山 逸郎 野原 弘美 山田 元徳

◎は編集委員長